

平成 30 年度 第 1 回昭島市環境審議会
会議録（要旨）

〔開催日時〕 平成 30 年 7 月 19 日（木） 18：30～20：15

〔開催場所〕 昭島市役所 3 階庁議室

〔出席者〕

- 1 委員：安部委員、尾崎委員、小野沢委員、桐谷委員、椎名委員、
田中近江委員、長瀬委員、福永委員
- 2 事務局：池谷環境部長、吉野環境課長、小林係長（計画推進係）、齋藤係長
（環境保全係）、小沢係長（水と緑の係）、橘主事

〔欠席者〕

委員：倉水委員、田中利和委員、降旗委員、亀卦川委員

〔議事要旨〕

- 1 開会
- 2 議題
「昭島市の環境」について【資料 1】【資料 2】
- 3 その他
- 4 閉会

〔配布資料〕

- 資料 1 第 1 章 昭島市環境基本計画
資料 2 第 2 章 水と緑の基本計画

〔発言要旨〕

- 1 開会
- 2 議題
「昭島市の環境」について

個別基本計画の施策実施状況等について、事務局からの説明が行われた。

○環境基本計画について

（資料 1、小林係長による説明）

○水と緑の基本計画について

（資料 2、小沢係長による説明）

- 安部委員 : 3 ページの「クリーン作戦」について、ゴミ拾いに参加してもあまり成果が無い様に思える。ゴミの拾い方についてもう少し工夫をしてほしい。
- 吉野課長 : 多摩川のゴミ自体が減っているのが現状。管理課などは地域の範囲を広げる方法で行っている。
- 会 長 : 多摩川がきれいになっているならば、その状況を広報した方がよいのでは。
本来は、河川の自然の保全を守るという目的。時代に合わせて違った方向から見直しても良いのでは。
- 吉野課長 : 外来種の植物が増えてきていることから、自然を手つかずのまま残そうとする方法から変えることが検討されている。
- 田中委員 : 6 月ころ、河川敷に黄色い花が増えている。摘んで焼却しなくてはいけないのではないか。
- 吉野課長 : 「オオキンケイギク」は爆発的に増えている。種ができる前の 6 月から 7 月に花を摘んでしまうのが良い。駆除を HP でお願いしている。
- 会 長 : 分布地図が必要ではないか。市民に周知することが必要。
- 田中委員 : きれいになっているなら、違う方向に人員を割くべき
広報、緑花フェスティバルで写真を見てもらい、特定外来種の害を告知するなどを行い、市民に周知した方がよい。
- 尾崎委員 : 企業、学校、に PR し、年間を通して協力してもらうのはどうか。
- 福永委員 : 拡散を防ぐため専用の袋を用意し、破棄するのはどうか。
- 吉野課長 : 昭島市総合戦略の中で、生物多様性を調査したのちにエコツールマップを作ろうと計画している段階。外来種は載せる予定はないが、市内でどんな植物がどこで見られるかがわかる。
- 尾崎委員 : 駅周辺でも喫煙マップがほしい
- 吉野課長 : 昭島市は喫煙所を設けてない。受動喫煙の影響があるので。東京都で行っているオリンピックの取組で、レストラン等での喫煙ができなくなる。屋外に別途喫煙所を設けるかもしれないが、清掃に要する費用が市の負担になってくる。年間 100 万円を超える。
現在昭島市の条例で、ポイ捨ては禁止しているが、路上喫煙は禁止していない。マナーを守って喫煙してほしい。
- 田中委員 : 滝山丘陵をボランティアで整備したい。持続してやっていくので、昭島市から土地の管理者の西武運輸に話してほしい。
- 吉野課長 : 現在はどこで管理しているのか、調べなければわからない。
- 田中委員 : せめて尾根のところだけでもきれいにしたい。
- 会 長 : 民と公との話し合いでは難しいのではないか。
- 吉野課長 : 「環境リーダー」で別途検討したい。

3 その他

第2回審議会は3月中旬から下旬で開催予定をしています

4 閉会